

メタセコイアから見た大阪の森の歴史と文化

大阪市立大学理学部附属植物園には、日本列島からは絶滅してしまい化石でしか見つからない植物もたくさん植えられています。その代表格であるメタセコイアは、生きている化石植物として植物学的に重要であるだけでなく、各地の並木やシンボルツリーとなって地域の文化を創造しています。

メタセコイアをはじめ太古の大阪の森にあった植物を観察するとともに、植物と文化の関わりを考えます。パリ植物園やキュー王立植物園など海外の植物園との共同調査の成果もまじえ、世界のメタセコイア事情についても紹介します。

2015年2月21日(土)12時30分～15時30分

大阪市立大学理学部附属植物園



メタセコイア化石



日 時:2015年2月21日(土)

12時30分～15時30分(雨天実施)

場 所:植物園研究棟講義室および園内
(講義室にお集まり下さい)

参加費:入園料(350円)のみご負担下さい

定 員:35名(先着順)

シナヒイラギモチ化石



<プログラム>

1. 講演「大阪でメタセコイアが生きていた時代の植物」
講師 塚腰 実
(大阪市立自然史博物館・主任学芸員)
2. 講演「文化を創造するメタセコイア:自然からの贈り物」
講師 岡野 浩
(大阪市立大学都市研究プラザ・教授)
3. 園内観察「メタセコイアや文化に深く関わる植物の観察」
担当 塚腰 実・岡野 浩

<参加申込方法> メール、電話、ハガキ、FAXのいずれかの方法でお申し込み下さい。(1)氏名(2)住所(3)電話番号(4)差支えなければ年齢や職等の情報(任意)をご連絡下さい。メールの場合は、件名を「植物園市民講座参加希望」として下さい。

<申込先> 〒576-0004 大阪府交野市私市2000番地
大阪市立大学理学部附属植物園「植物園市民講座」係
TEL:072-891-2059 / FAX:072-891-2101 / E-mail:b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

<アクセス> 京阪電車交野線「私市(きさいち)」下車、徒歩約6分
JR学研都市線「河内磐船」下車、徒歩約20分(または京阪電車交野線乗り換え)